資料１

平成２４年度早池峰地域保全対策事業等の実施結果

Ⅰ　目的

早池峰地域は、固有種、希少種を含む数多くの高山植物が生育するなど、優れた自然景観を有している地域であり、昭和 57 年に国定公園に指定されたほか、国指定の自然環境保全地域、国の特別天然記念物、森林生態系保護地域、鳥獣保護区特別保護地区等に指定され、特に高山植物帯は、わが国における高山植物の宝庫として全国に誇り得る県民の貴重な財産である。

早池峰地域の自然環境を保全し、自然と人間の共生を実現するため、関係法令に基づく保護対策の推進と同時に、景観や生態系を損ねない範囲での持続可能な利用を推進するとともに、地域の自然と、そこに根ざした文化・風土を取り込み、地域の活性化にも寄与する地域一体型の保全対策を図ることが必要である。

この目的を達成し、早池峰地域の自然を未来に確実に引き継ぐため、利用者自らが自然に対する負荷の軽減を十分に心がけるよう自然の意義やマナーについて普及啓発を図ることを目的とし、民間団体と行政が、それぞれの役割に応じてパートナーシップを図り、次の早池峰地域保全対策事業を実施したものである。

Ⅱ　早池峰地域保全対策事業の実施状況

１　利用者のマナー向上対策

（１）広報活動

①　早池峰山車両通行規制のパンフレット、早池峰マナーガイド、携帯トイレデー広報チラシの配布

県外配布先：岩手県各県外事務所、各都道府県、全国旅行業協会各都道府県支部、日本バス協会、近隣県（青森、秋田、宮城県）のバス会社、近隣県の旅行代理店

県内配布先：各市町村、各広域振興局、旅行代理店、バス会社、山岳関係団体、県内登山用品店

②　携帯トイレの販売協力要請

県内の主要登山用品店に上記チラシの配布と併せて携帯トイレ販売の協力を要請

③　ホームページによる広報

県南広域振興局保健福祉環境部、市、岩手県交通等のホームページで早池峰地域の保全対策、車両通行規制などの内容を掲載

④　マスコミ等による広報

県政記者クラブを通じた情報提供

（２）早池峰クリーン＆グリーンキャンペーン

早池峰地域の自然環境の保全と適正な利用を図るため、関係法令に基づく保護対策のほか、利用者自らが早池峰地域の保全の必要性を理解し、自然に対する負荷の低減を心がけるよう、主要登山口等で登山者への啓発活動を行った。

平成２４年度早池峰クリーン＆グリーンキャンペーン参加状況

月日（曜日）	GV※1 人数	担行政当機関（小田越・河原の坊）	バス利用者人数※2	備　考
6月10日（日）	26	自然保護課、県南局保健福祉環境部	893	山開き 携帯トイレデー
6月16日（土）	8	花巻保健福祉環境センター（県南局補助）、宮古保健福祉環境センター	134	
6月17日（日）	7	県南局保健福祉環境部、道路環境課	141	
6月23日（土）	10	花巻保健福祉環境センター、自然保護課	503	
6月24日（日）	15	県南局保健福祉環境部、遠野市	432	
6月30日（土）	13	花巻保健福祉環境センター、宮古土木センター	633	
7月 1日（日）	13	県南局保健福祉環境部、自然保護課	511	
7月 7日（土）	15	花巻保健福祉環境センター、岩手南部森林管理署遠野支署	341	
7月 8日（日）	11	県南局保健福祉環境部、三陸北部森林管理署	646	
7月14日（土）	11	花巻土木センター（県南局補助）、自然保護課	713	移入種駆除
7月15日（日）	11	県南局保健福祉環境部、東北地方環境事務所	354	
7月16日(月･祝日)	8	花巻保健福祉環境センター（県南局補助）、花巻市	442	海の日
7月21日（土）	9	花巻保健福祉環境センター、自然保護課	741	
7月22日（日）	14	県南局保健福祉環境部、宮古保健福祉環境センター	578	
7月28日（土）	7	県南局保健福祉環境部、道路環境課	640	
7月29日（日）	15	花巻土木センター、自然保護課	499	
8月 4日（土）	10	花巻保健福祉環境センター、遠野市	305	
8月 5日（日）	15	県南局保健福祉環境部、岩手県交通㈱	313	
合計	延べ218		8,819	

注1）グリーンボランティア

注2）バス利用者数は、利用券販売枚数（グリーンボランティア券299枚分を除く）

① 期間　6月10日（日）～8月5日（日)までの土日祝日　計18日間

② 参加機関等

早池峰グリーンボランティア、岩手県交通㈱、岩手南部森林管理署遠野支署、三陸北部森林管理署、盛岡自然保護官事務所、花巻市、遠野市、宮古市、岩手県（自然保護課、道路環境課、県南広域振興局、沿岸広域振興局）

③ 実施状況

登山口及び山頂等でのキャンペーン活動に期間中延べ273人（うち早池峰グリーンボランティア218人）が参加した。

④ 主な活動内容

・ 登山口において、マナーガイドの配布、山麓トイレの使用奨励、携帯トイレの普及促進活動（販売協力、デモンストレーション)、下山者に対する交通規制の周知、侵入車両等への対応

・ 登山道において、登山者へのマナー指導、ハシゴ場等危険個所の誘導等

・ 山頂において、　清掃活動、携帯トイレの普及促進活動等

2　山のトイレ問題への取組み

（1）携帯トイレ使用の普及促進活動

携帯トイレの利用を促進するため、早池峰総合休憩所、小田越監視員詰所、山頂避難小屋で合わせて3,645個を販売した。なお、携帯トイレの販売管理は、携帯トイレ販売管理組織「携帯トイレ‘サポート早池峰」が行い、河原の坊及び小田越および山頂避難小屋に携帯トイレ無人販売箱を設置して、登山口者がいつでも携帯トイレを購入できるようにしている。また、早池峰キャンペーンの日には、同団体及びキャンペーン参加者が登山口での販売に協力している。

表：携帯トイレ販売数量

年度	22年度	23年度	24年度
販売数量	2,052個	1,472個	3,645個

（2）山頂避難小屋トイレのし尿担ぎ下し

山頂避難小屋トイレし尿の担ぎ下ろしは「早池峰にゴミは似合わない実行委員会」を中心とするボランティアにより、5月27日（日）に1回実施（昨年度は3回）された。参加者は68人、処理量は126.7kgであった。

表：早池峰山頂避難小屋し尿処理状況（実行委員会資料）

	23年度				24年度
月日	6/19（日）	8/21（日）	10/2（日）	年度合計	5/27（日）
参加者	46名	28名	36名	110名	68名
処理量	146.3㎏	105.5㎏	197.2㎏	449.0kg	126.7kg

（3）携帯トイレデー（携帯トイレ使ってみでけＤＡＹ）の実施

平成21年度の休日2日間、山頂避難小屋の汲取りトイレを閉鎖し携帯トイレのみを使用可能とする取組み「携帯トイレデー」を実施したのを皮切りに、徐々に日数、曜日を拡大し、実施状況とアンケート結果を踏まえ、今年度は6月10日（日）から10月8日（月）まで（121日間）と拡大実施した。

表：携帯トイレデー実施状況

年度	実施日	時間
21年度	6/28（日）、7/26（日）　【2日間】	午前8時～午後1時
22年度	6/25（金）～6/27（日）、7/1（木）～7/4（日）【計7日間】	同上
23年度	6/25（土）～7/9（土）、7/30（土）～8/13（土）【計30日間】	終日
24年度	6/10（日）～10/8（月）　【121日間】	同上

（4）小田越登山口仮設トイレ及び使用済携帯トイレの回収

業務委託事業として、6月8日から9月7日まで、小田越登山口に仮設トイレ（大小兼用3基、小専用1基）を設置し、登山者に登山前のトイレ使用を呼びかけた。し尿汲取り量は合計で4,680リットル（前年度2,520リットル）で、洗浄水量を差し引くと、登山者のし尿の量は2,187リットル（前年度1,184リットル）と推定される。

また、使用済み携帯トイレの回収については、6月から10月までの間実施し、小田越で547個、河原の坊58個、峰南荘前6個、岳駐車場16個の合計627個を回収した。

表：小田越登山口仮設トイレの利用状況

年度	設置状況	し尿汲取り量	し尿の量
22年度	大小兼用3基、小専用1基	2,970リットル	935リットル
23年度	同上	2,520リットル	1,184リットル
24年度	同上	4,680リットル	2,187リットル

表：使用済携帯トイレ回収箱の利用状況

	小田越	河原の坊	峰南荘前	岳駐車場	合計
23年度	318個	47個	12個	6個	383個
24年度	547個	58個	6個	16個	627個

3　高山植物の保護対策

（1）高山植物盗採防止合同パトロール

高山植物の保護、採取・損傷行為防止のため、関係機関連携による合同パトロールを実施した。

①　実施日：5月30日（水）、7月31日（火）の計2回

②　参加機関：

花巻・遠野・宮古警察署、花巻市、遠野市、宮古市、岩手南部森林管理署遠野支署、三陸北部森林管理署、岩手県（県南広域振興局保健福祉環境部、自然保護課、沿岸広

域振興局)、岩手県教育委員会（生涯学習文化課）

③　実施内容

1回目、2回目とも、道路班と登山班に振り分け、高山植物や登山道の状況確認、通行車両及び登山者に対する啓発活動を実施した。

1回目は37名参加のもと、登山班に関しては2班編成で早池峰山(河原の坊→小田越)、薬師岳のパトロールを実施、早池峰山小田越コース5合目付近でサマギヨモギの食痕が確認された旨の報告があったが、盗採と思われる現場は無かった。

2回目は23名参加のもと、登山班に関しては2班編成で早池峰山の河原の坊、小田越の両登山口を出発、うち1班は剣ヶ峰方面にまで足をのばしパトロールを実施、踏み付け等によるコバノツメクサの損傷等の報告があったが、盗採と思われる現場はなかった。

（2）移入種駆除

県道沿い、河原の坊及び小田越登山口付近で、特に進出の目立つセイヨウタンポポ（以下「タンポポ」)、オオバコを駆除してきたところ、今年度は山頂も対象とするとともに、昨年度、生育が指摘されたオオハンゴンソウの駆除も試みとして実施した。

①　実施日及び対象等

・　6月　3日（日）　県道沿い、河原の坊及び小田越登山口、タンポポ、オオバコ
・　7月14日（土）　山頂、タンポポ、オオバコ　※県南広域局及びGVの対応
・　8月24日（金）　県道沿い、オオハンゴンソウ　※県南広域局及び花巻市の対応

②参加機関：グリーンボランティア、花巻市、遠野市、宮古市、岩手南部森林管理署遠野支署、三陸北部森林管理署、岩手県（県南広域振興局保健福祉環境部、自然保護課、沿岸広域振興局保健福祉環境部）

4　自動車利用適正化対策

登山車両による県道の交通渋滞の緩和、路肩駐車や排気ガスによる植生への悪影響を防止するため、以下のとおり岩手県公安委員会告示により花巻市大迫町内川目岳から宮古市江繋までの県道紫波江繋線の区間の車両通行規制を実施している。なお、代替交通手段として、早池峰国定公園地域協議会がシャトルバスを運行した。

（1）　交通規制内容

①　期間

6月10日（6月第2日曜日の山開きの日）から8月5日（8月の第1日曜日）までの土曜、日曜日及び祝日（計18日間）

②　時間

大型車・特定中型車は、午前5時から午後5時まで

上記以外は、午前5時から午後1時まで（規制対象外車両あり）

③　区間

主要地方道紫波江繋線　花巻市大迫町内川目岳地内から宮古市江繋地内の約16ｋｍ

④　規制対象外車両

乗合バス（路線バス、シャトルバス)・タクシー・ハイヤー・二輪車・許可車両

（2）　車両交通規制の実績

① 延べ日数　　１８日（前年同）

② バス利用者（利用券販売枚数）8,819 人（前年 7,262 人　1,557 人の増）

③ 登山者数　　21,639 人（前年 13,926 人　7,713 人の増）

Ⅲ　利用施設について　県自然保護課

河原の坊コースにおいて、落石の恐れがある浮石の周辺をロープで囲い、立ち入り禁止措置を行った。

現在、河原の坊総合休憩所前において案内標識の改修、小田越コースにおいて注意標識を整備している。

Ⅳ　ボランティア活動の支援

平成１４年度から、グリーンボランティアを募集し活動支援を行ってきており、今年度当初のボランティアの総数は 155 名（うち早池峰は 98 名）となっている。

グリーンボランティアには、早池峰キャンペーンの全日程で協力をいただいた他、キャンペーン期間外にあっても、携帯トイレデーが延長されるなか積極的に活動いただいた。

早池峰におけるボランティアの活動は、通常のマナー指導、自然保護活動に留まらず、携帯トイレの説明及び販売、移入種の駆除、登山者の安全確保等多岐に渡っている。

また、早池峰山を活動拠点とするグリーンボランティアが 22 年 6 月に「早池峰グリーンボランティアの会」を立ち上げたところであるが、今年度もスキルアップのための自主研修や公園利用者への意識啓発のため自主キャンペーンを実施するなど活発な活動を展開している。

（1）　グリーンボランティアの活動状況

① 早池峰キャンペーン参加状況は、18 日間で延べ 218 人（前年度 189 人）。なお、キャンペーンに参加するボランティアには、シャトルバスの利用券をその都度郵送配布する等の支援を行っている。利用券の使用実績は 299 枚（前年度 330 枚）。

② キャンペーン以外にも携帯トイレの普及活動、携帯トイレデー、移入種駆除、登山道補修などの活動へ協力した。当該活動への参加は延べ 156 人。。

（2）　早池峰グリーンボランティアの会活動状況（上記以外）

① 総会　6 月 3 日（日）、活動報告及び活動計画（案）の協議等

② スキルアップ研修

- １回目　5 月 20 日（日）　「七折の滝」と「鶏頭山」の踏査
- ２回目　7 月 22 日（日）　講演「早池峰周辺に生息する野生鳥獣の現状について」
- ３回目　8 月　5 日（日）　ＤＶＤ鑑賞「大草原の少女みゆきちゃん」
- ４回目　9 月 23 日（日）　遠野三山巡り（その 1)「六角牛山」の踏査
- ５回目　10 月 14 日（日）　遠野三山巡り（その 2)「石上山」の踏査

③ 自主クリーン&グリーンキャンペーン

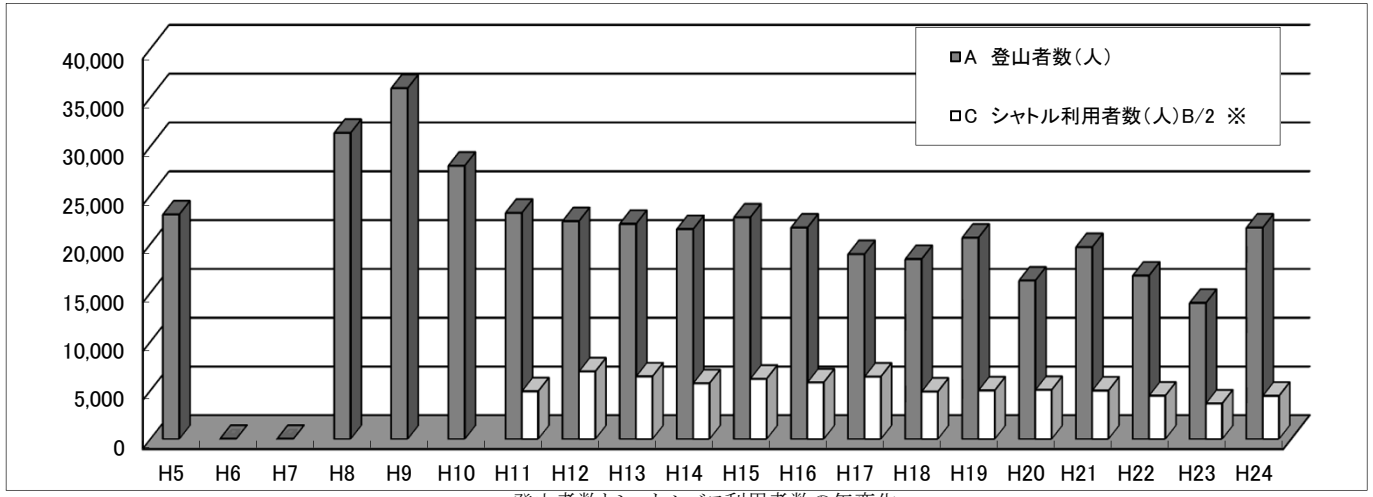
- １回目　9 月 16 日（日）　通常の早池峰キャンペーンと同様の取組み
- ２回目　10 月　7 日（日）　同上

早池峰山登山者数の推移(自然公園保護管理員調べ)

年	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H24 前年比
A 登山者数(人)	22,989	−	−	31,336	35,929	27,988	23,154	22,310	22,028	21,492	22,695	21,640	18,932	18,417	20,618	16,225	19,648	16,730	13,926	21,639	7,713
H9年比(%)					100.0	77.9	64.4	62.1	61.3	59.8	63.2	60.2	52.7	51.3	57.4	45.1	54.7	46.6	38.8	77.3	38.6
B シャトル利用券販売枚数(枚)							9,769	13,818	12,796	11,408	12,317	11,575	12,748	9,685	9,950	10,024	9,906	8,856	7,262	8,819	1,557
C シャトル利用者数(人)B/2 ※							4,885	6,909	6,398	5,704	6,159	5,788	6,374	4,843	4,975	5,012	4,953	4,428	3,631	4,410	779
シャトル利用前年比 (%)							−	141.4	92.6	89.2	108.0	94.0	110.1	76.0	102.7	100.7	98.8	89.4	82.0	121.4	39.4
シャトルバス利用割合 C/A(%)							21.1	31.0	29.0	26.5	27.1	26.7	33.7	26.3	24.1	30.9	25.2	26.5	26.1	20.4	−5.7
交通規制期間							7/3～8/15	7/1～8/13	6/30～8/12	6/29～8/11	6/8～8/3	6/13～8/1	6/12～8/7	6/11～8/6	6/10～8/5	6/8～8/3	6/14～8/1	6/13～8/1	6/12～8/7	6/10～8/5	
	*冷害					*交通規制シャトル運行 *岩手山入山禁止		*貸切バス規制対象						休日悪天候によるシャトル利用者減		地震の影響	シャトルバス運行16日(前年より2日減)	シャトルバス運行16日(前年同様)	シャトルバス運行18日(前年より2日増)	シャトルバス運行18日(前年同様) 片道¥700 H24～	

※ 平成4･6･7年データなし
※ C シャトルバス利用者数は、シャトル利用券販売数(E

H24内訳	5月	6月	7月	8月	9月	10月		合計
管理員調査集計数	451	2,810	5,530	3,072	2,556	2,811		17,230
シャトル利用券販売枚数	0	2,736	5,465	618	0	0		8,819
シャトル利用者数	0	1,368	2,733	309	0	0		4,410



登山者数とシャトルバス利用者数の年変化